分類 / 展示No	CN/CE		
13-1	提案名：全量リサイクル可能なALL PET成形用不織布	分野：CN/CE	新規性：該当部品 初適用

会社名	所在地
髙安(株)	岐阜県各務原市蘇原村雨町3－47

連絡先		URL	https://www.takayasu-rf.co.jp/
部署名：技術部		Tel No.	058-382-2231(代表)
担当名：森田　桂		E-mail	k-morita@takayasu-rf.co.jp

主要取引先
・トヨタ紡織(株)　・豊田通商(株)
・林テレンプ(株)

海外対応
☐ 可　生産拠点国を記入（　　）　■ 否

<< 提案内容 >>

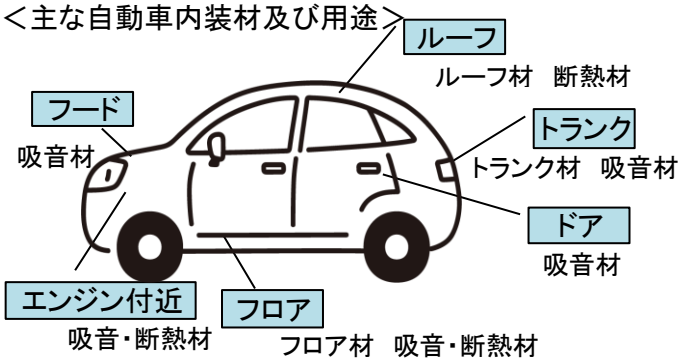
提案の狙い
■ 原価低減　☐ 品質/性能向上
☐ 質量低減　■ 安全/環境対策
■ 生産(作業)性向上　☐ その他(　　)

適用可能な製品(分野)
・リサイクルが必要な自動車内装材(下層含む)

従来

欧州ELV規則の施行が近づくにつれ、
自動車内装材料のALL PET化が進んでいる

＜主な自動車内装材及び用途＞



★接着性繊維(共重合PET)入りが主流
　厳密にはALL PETではない

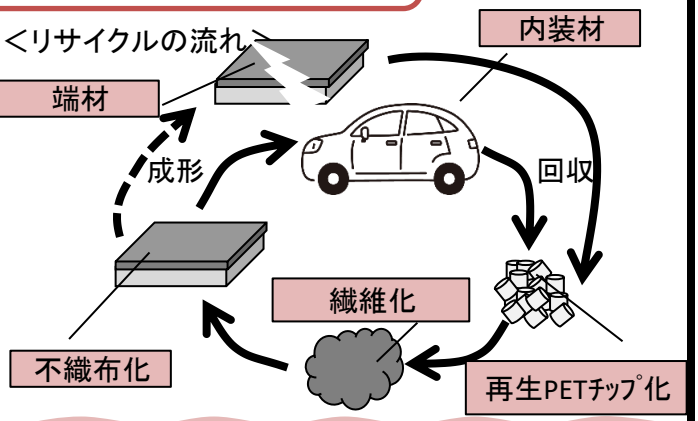
★共重合PET入りは、リサイクルが困難
　生産時の端材は産廃
　使用後は費用をかけて分別・リサイクル

★共重合PET入りは耐熱性に不安あり

★共重合PETなしでは、成形に高温及び圧力が必要

提案内容

＜リサイクルの流れ＞



☆**単一原料　ALL PETで接着性繊維の役割も担う**
　通常PET　100%

☆単一原料なので、リサイクルが容易
　端材、使用後製品も原料として使用可能
　繊維to繊維が可能

☆成形品は通常PET同等の耐熱性

☆成形温度を低く抑えることが可能

セールスポイント(製造可能な精度/材質等)
・全量リサイクル可能な単一原料(ALL PET)
　且つ 成形性が良く、150℃で成形可能

問題点(課題)と対応方法
・前処理等の熱処理に温度制限あり
→前処理については応相談

開発進度　(　2026 年　6 月　現在)
☐ アイデア, ☐ 試作/実験, ■ 開発完了, ☐ 製品化完了(採用:☐実績有, ☐予定有, ☐予定無)

パテント有無：2026年下期出願予定

従来との比較	項目	コスト	質量	生産/作業性	その他(リサイクル率・質UP)
	数値割合	端材・製品の廃棄費用　大幅削減	―	加工温度の低減が期待される	カスケードリサイクルから水平リサイクルへ